

◆企画名	<u>ほっこり相談室の開室</u>
日程	<u>平成23年4月～平成24年3月</u>
場所	<u>総合学生会館凜風館1階 サポーターズルーム</u>
参加者数	<u>15名（ピア・サポータ）</u>
目的	

大学生活というのは、流動的な場や密な対人関係を過ごす場所であり、その環境に上手になじむ事ができず、大学を自分の居場所とする事に困難を感じている学生も多い。そうした学生達が抱える「大学内に安心できる居場所がない」「学内の相談機関に行くほどではないが、誰かに話を聞いて欲しい」という様なニーズに応えるため、より身近に話を聞く事ができる、同じ関西大学の学生が相談員を務める「ほっこり相談室」を開室し、研修を受けたメンバーが相談員として対応する。

内 容

ほっこり相談室とは、本学の全ての学生を対象として、KU サポーターズのメンバーが来室された方々のお話を聴くために相談員として対応する相談室である。相談事の対応以外にも、少し誰かと話がしたいといった方の為の雑談の場や、お昼ご飯を一緒に食べる場等の提供も行っており、緊張せずに気軽に訪れてもらえるような相談室作りに努めている。

平成23年度は月曜日・水曜日・金曜日の週3回、午前11時から午後5時まで（秋学期の水曜日のみ午後1時から午後5時まで）ほっこり相談室を開室している。12月現在で延べ約50名の来室があり、同時点での昨年の来室者数と比べて約10名増えた。

感 想

学生にしか話せない悩みや、ちょっとした相談事を話したいときに気軽に来室して下さる利用者の方々と触れ合う事で、「学生である自分にも誰かのためにできることがある」ということを実感できる。自分が行う活動に確かなやりがいが存在すると自信を持つことが、さらに利用者さんに満足していただけるような相談室作りに努めよう、と思うモチベーションになっている。

ほっこり相談室での活動を通して、様々な方と触れ合う事で自分自身の成長も感じられ、また、思いやりや共感の心が自分に染みついていくことを感じられた。

改善点

昨年と比べて利用者数が増えたことは事実だが、やはり未だほっこり相談室の知名度は高いとは言えない。今後はさらなる知名度上昇のため、広報にも力を入れていく。

また、相談室としての活動が安定してきたと同時に、詳細なルール決めの必要が出てきた。今後 KU サポーターズが代替わりをしても同じような対応が取れる様、詳細なルールを定めて次の世代に引き継いでいくシステム作りを行う必要がある。